

原書の序

人間のあり方 (human condition) について説明する際、私たちは否定的なことだけを強調して、一人ひとりが犯した些細な過ちにこだわることがあまりにも多い。しかしながら、他者へ医療を提供することを目的に、知識を得て、研究を行い、そして協力することも、また、人間のあり方である。人間誰しも、人生のどこかの時点で患者という立場になる可能性がある。医療プロフェッショナリズムは、これを理解すること、そして、私たちの行動のあり方や知識とスキル、またセルフケアやレジリエンスの維持能力を発揮し、患者に共感することが根底にある。

医療プロフェッショナリズムは、個々の実践家と患者との関係性についてだけではなく、チーム、医療提供者および専門機関の互いの関係性と、それぞれの内部における関係性についても指している。今日、医学的知識と技術資源は、かつてないほど膨大になっている。患者安全運動やヒューマンファクター訓練の後押しによって、専門家が患者に提供する医療の基準は絶えず向上し続けている。それと同時に、医療従事者の間では、いわゆるバーンアウトや、自殺率さえも増えている。医療専門家もまた、個人としても職業上においても幸福であるために、患者、同僚、および組織の支援を必要としている。突き詰めれば、このことは安全な患者ケアにつながっているのだ。

本書は、医療系の学生と実践家向けの入門書として、また現在得られているエビデンスのサマリーとして、そして医療における専門的価値が行き着く道筋のガイドラインとなることを意図している。取り上げられているトピックは網羅的ではないが、英国の国民保健サービスにおける私たち自身の臨床診療に関するトピック、および学生自身に求められているトピックを反映している。

医療プロフェッショナリズムの問題は世界のどこであっても非常によく似ている。地域特有のものは地域的な解決策が役立つが、さまざまな国の同僚と話し合って、現代の医療プロフェッショナリズムの課題について国際的視点を得ることは大変有益だ。本書は、実際のそのような議論から生まれたものである。非常に多くの国々から多様な分野の専門家（医師や、研究者、教師といった方々）に参加していただいたことに深謝したい。

2017年4月

Nicola Cooper
Anna Frain
John Frain